

作成日 2019/03/13
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ 静電気除去スプレー
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
整理番号 M200109

2. 危険有害性の要約 GHS分類

GHS分類に該当するデータは得られていない。

3. 組成及び成分情報 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	99.0%	不明	不明	不明	7732-18-5
イソプロピルアルコール	0.30%	CH3CH(OH)CH3	(2)-207	既存	67-63-0
第四級アンモニウム塩(カチオン界面活性剤)	0.70%	不明	不明	不明	不明

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

特有の危険有害性

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消火方法

火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。

消火を行う者の保護

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

直ちに、全ての方向に適切に距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に溜まる。
低地から離れる。

環境に対する注意事項

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

眼に入れないこと。
空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の喚起を行うこと。
飲込みを避けること。

接触回避
衛生対策

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
眼、皮膚との接触を避けること。

保管

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。
取扱い後はよく手を洗うこと。

安全な容器包装材料

保管場所には、危険物を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

酸化剤から離して保管する。

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
イソプロピルアルコール	200ppm	【最大許容濃度】 400ppm(980mg/m3)	TWA 200 ppm, STEL 400 ppm
水	未設定	未設定	未設定
第四級アンモニウム塩(カチオン界面活性剤)	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態 形状 色	液体 液体 淡いブルーから経時変化し無色透明に カルキ臭 データなし
臭い 臭いのしきい(閾)値		
pH		5.9
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		100°C
引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		1(20°C)
溶解度		水に易溶
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 化学的安定性		通常の条件では危険有害な反応は起こらない。 通常の保管及び取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性		過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物		特になし。 酸化剤。 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が ⁴ 4384mg/kgのため区分5に該当。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分外に変更。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 急性毒性推定値が ⁵ 5000mg/kg超のため区分外に該当。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 急性毒性推定値が50000ppm超のため区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
(呼吸器感作性)

生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性

データ不足のため分類できない。
(皮膚感作性)
データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
(生殖毒性)
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
※区分2は0.3%含まれる。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

吸引性呼吸器有害性

動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報
水生環境有害性(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。
毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

水生環境有害性(長期間)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。
毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の規準に従うこと。

汚染容器及び包装

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant

非該当
Not applicable

	Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code.	Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令		
化審法 労働安全衛生法		優先評価化学物質(法第2条第5項) 作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を通ずべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
大気汚染防止法		プロピルアルコール(政令番号:494)(5%未満) 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
海洋汚染防止法		有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法		輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)		輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
16. その他の情報		
参考文献		製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
その他		危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。